

ホソバブラシノキ

季節外れに咲く

串本

オーストラリア原産という。梅本所長は、来年の開花時期に「春と勘違いしたのだ。準備できないかもしれぬ。木の勢いが弱まらない」と話している。

梅本信也所長によると、本来は6月上旬に咲き始め、6月下旬には散るが、9月下旬から数輪が再び花をつけた。花の数は6月のときより少ない。

原因として、9月上旬にいったん下がった気温が彼岸を過ぎたころに再び上昇したことが考えられるという。

同実験所では、マキバブラシノキ(フトモモ科)やマルバチシャノキ(ムラサキ科)も若木を出している。

この時期に花を咲かせたり、若木を出したりしてしまうと、その部分は冬に寒さで枯れてしまつ可能性がある

串本町須江の京都大学フィールド科学教育研究センター紀伊大島実験所で、季節外れに花を咲かせたり、若木を出したりしている植物が見られる。季節外れに咲いているのは、12平方メートルに植えられているホソバブラシノキ(フトモモ科)で、高さ2.5メートルほど。



季節外れに数輪咲いたホソバブラシノキ。市内も(4日、串本町須江で)